

印刷現場 S さんの事例

2020 年 8 月 13 日

夏らしい日が続いていますね。こんな感じの暑い日に職場体験初日を迎えた S さんの事例を紹介したいと思います。

地方から専門学校に通うために上京してきた S さんは、卒業後に就職したものの長続きせず、ひきこもり状態となっていました。パソコンには精通していて、その技術を活かせる現場で、まずは働くためのリズムを整えたいと考え、印刷会社の DTP (Desktop publishing/パソコンで印刷物のデータを作成する) 部門での体験が決まりました。

炎天下の初日、ジャケットを着て大汗をかいて待ち合わせ場所に現れた S さんはガチガチに緊張していました。体験は週 2 日からスタートしました。4, 5人のチームに混ぜてもらい、既に納品済みの過去のデータの修正をやらせてもらいました。

急遽入った入力作業に S さんの入力スピードが活かされる場面もあり、少しずつチームに溶け込んでいきました。最後は週 4 日通うようになり、「帰省の際に職場にお土産を買ってきてくれて、職員がとても喜んでいました」など部長が報告してくれたこともありました。

そして私たちが嬉しかったことは、部長のこの一言。「S さんが来てくれたことで、若手の社員が顔色やしぐさなど、相手の様子を見ながら声をかけあうようになった。そうやって社員が育つことは、わが社の財産が増えたということです。」